

「旭市のまちづくり」市民意見交換会
調査結果報告書



令和6年2月

旭市

目 次

I. 実施概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 会議概要.....	1
II. 各回の開催概要について.....	2
1. 第1回.....	2
2. 第2回.....	5
3. 第3回.....	12

I. 実施概要

1. 調査の目的

本調査は、第3期旭市総合戦略の策定にあたり実施したアンケート結果を基に、市民のまちづくりに関する具体的な声を収集し、策定に向けた基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 会議概要

① 実施概要

会議は全3回とし、旭市の強みと弱み及び課題を踏まえた上で、「まちづくりの目標」(ビジョン)とその実現のために取り組むべきことをグループワーク形式で検討しました。

② 開催日時及び場所

	日 程	時 間	場 所
第1回	10月29日(日)	14時～16時	おひさまテラス「ミーティングルーム」 ※イオンタウン旭 2階 (住所：旭市イ 4337 番 1)
第2回	11月26日(日)		
第3回	12月17日(日)		

③ 参加者

市内の高校生(4名)、子育て世代(6名)、シニア世代(6名)、旭市新規採用職員(7名)の計23名で実施。

※参加者は、県立高校、各種審議会・協議会から推薦等により募集。

④ 各回のテーマ

第1回 (10月)	● 市民アンケート・若者アンケート結果報告 ● 旭市の強み・魅力と課題 ― 好きな点・良い点・自慢したい点、嫌いな点、改善した方がよい点
第2回 (11月)	● 愛着と誇りを持ち、ずっと住み続けたいと思える「まちづくりの目標」(ビジョン)の検討
第3回 (12月)	● 「まちづくりの目標」(ビジョン)を実現するために必要なこと・取り組むべきこと

II. 各回の開催概要について

1. 第1回

① 開催日時

令和5年10月29日（日）午後2時～

② 検討テーマ

旭市の強み・魅力（良いところ・活用すべき資源）と課題（問題点）

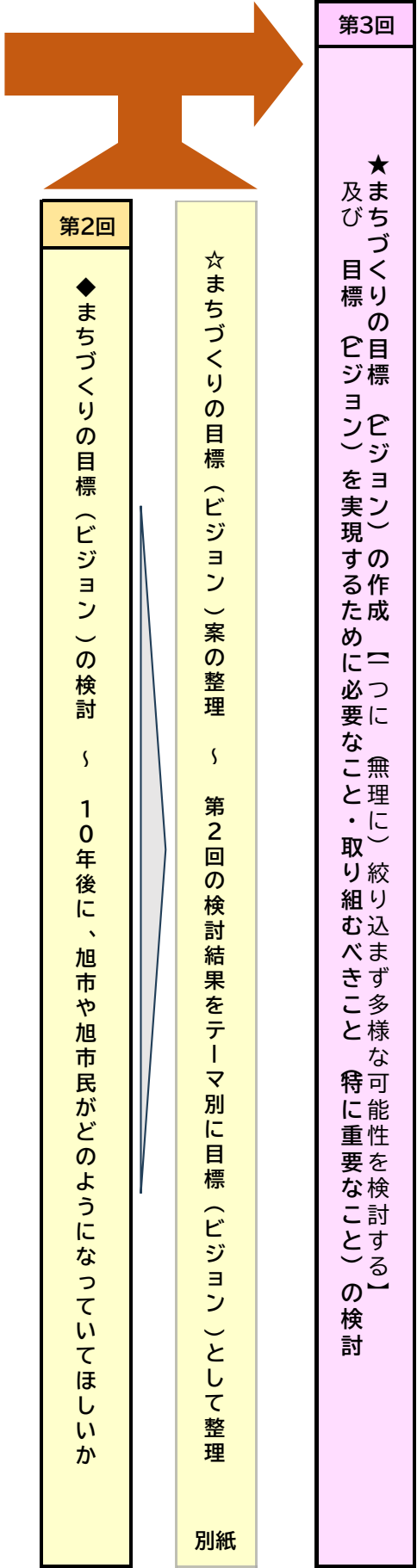
③ 意見交換会の流れ

内 容	
趣旨説明	挨拶・趣旨説明
自己紹介	自己紹介 ①名前、②居住地区、③参加のきっかけ等
結果報告	市民アンケート・若者アンケート結果報告
内容説明	意見交換会の進め方の説明
ワーク①	【グループワーク①】 ・旭市のよいところ、課題を各自が付箋に記入 ・各自読み上げながら発表
ワーク②	【グループワーク②】 ・付箋紙のグループ化（グルーピング） ・テーマ、要約を作成
発表	班ごとに代表者が発表 （3分×3班）
案内	次回の案内

④ 開催結果（第1回）

(注)分野の配列は良いところと課題の合計件数の多い順

分野	良いところ・活用すべき資源（◎:複数意見/ほぼ同じ内容を統合）	件数	課題・問題点（◎:複数意見/ほぼ同じ内容を統合）	件数
自然	◎自然が豊か(海・内陸の2面性、広い田んぼ・九十九里浜、サステナブルな環境、若者の活躍の場を想定可能) ◎自然に触れる機会が多い、生き物を学ぶ機会がある ◎四季の変化を視覚と手で感じられる(緑がたくさん、お寺の紅葉がきれい) ◎気候が温暖で穏やかで災害が少ない、雪も降らず台風も少なく住みやすい ◎飯岡灯台からの眺めがきれい	32	◎津波の危険性が常にある、津波避難経路の整備 ・塩害が強い ・たなごが減った ・害獣が多くなった(イノシシ、ハクビジン、うさぎ、かも、キジ、タヌキ、ヘビ、イタチ)	5
交通・道路	・都心に近い(関東・地理的にいい) ・あまり大きな市ではないのにJR駅が3箇所ある ・高速バスが通っていてこの先旭からも高速に乗れるようになる ・バスの乗り降りする所がスロープになっている	4	◎交通の便が悪い(移動に時間がかかる、市街地から離れると不便) ◎都心へのアクセスが悪い・時間がかかる ◎電車の本数が少ない・特急を増やすべき・JR3駅の利用者が少ない ◎市内の移動が不便(移動に時間がかかる、市街地から離れると便が悪い) ◎バスの利便性が悪い(バス便のない地域あり、本数が少ない、バス停の位置が乗降しづらい・看板がボロボロ) ◎歩道・通学路の整備が不十分(狭い、汚い、古い、街灯が少ない、道路わきの雑草が通行の妨げ) ◎道路整備不足・高速道路が通っていない ・自転車専用道がない ・見通しの悪いところがある	29
子育て支援・学校教育	・公園が多く子供の遊び場がある ・子育ての環境が充実している ・オムツの助成金がある	2	◎小児科が少なく受診に困る(旭中央病院、中田小児科のみ) ・陣痛タクシーが無い ・不審者情報が多く不安 ・子供連れで遊べる所が少ない(特に雨天) ◎学校の校則が厳しい(校則が厳しい・古い、髪型・ツープロック) ◎小中学校再編(統合で近くに学校がなくなった、中学校が違い地域がある) ◎不登校の子に対する支援が少ない・フリースクールがない ・小学生(中～高学年)の放課後の居場所がない ・保育園、小学校がだんだん古くなってきた ・子供の人数が少なく学校での生活をもっと充実させたい	17
観光・商業・魅力発信	◎道の駅が充実している・活気がある、あさピー焼きがおいしい ◎市のイベントが豊富(含:婚活イベント) ・ロケ地を推奨していて知名度UPにつながる ・観光に力を入れている ・サーフィン、釣り	8	◎観光スポットがない・少ない ◎観光・レジャー施設の整備 ・商店街の活性化 ・駅の近くに店舗が少ない・公民館がない ・旭市中心部、おひさまテラスと離れたところ(干潟・海上・飯田)との連携 ・旭市の魅力を情報発信できていない ・知名度が低い、メディア露出が少ない	8
居住・生活環境	・住環境(補助金)の向上 ・物価が比較的安定していると思われる。 ・生活していて困った(くらしにくい)と感じる事はあまりない ・平野が多く住みやすい ・道路や公園・施設等の様々な環境整備が設けられている ・公園が多い ・ドッグランがある	7	◎空き家が多い(空き家が多い、雑草が放置されている) ◎水供給、水道管が古い ・スーパーが近くにない地区がある ・公園の遊具が少ない ・ごみ袋が高い	6
医療・健康・福祉	◎医療が充実している、手厚い医療が受けられる ◎大きな病院(中央病院)がありいざという時の安心感がある ◎旭中央病院があるので救急の心配がない ・地域包括ケアの充実 ・運動、体を動かせる場所が多い	12	・障害者支援	1
農水産業・食	◎農業・水産・畜産は全国有数(農業産出額全国上位) ◎農水産業が盛んでごはんが美味しい ◎野菜、お肉などおいしい物が多い ◎海鮮が・野菜、フルーツが多く取れる	9	◎におい対策、都心から来ると畜産があるためニオイがキツイ ・農業経営の安定化 ・農水産業が盛んではあるが後継者不足	3
コミュニティ・人	◎住んでいる人(市民全般)がみんな優しく、人情味がある ・フレンドリーで平和な街 ・治安がよい、大事件がない ・交流会やイベントがおこなわれて地域のコミュニティを支える力となる	5	・地域・町内会への加入 ・地域共生社会意識が薄れている ・人口が少ない。増加が見込めない ・男女共同参画社会促進	4
雇用		0	◎働くところ・雇用が少ない(職種・選択肢の充実) ◎工業団地への新規入所者が少ない ・若者が旭市から離れていく(企業誘致を促進してほしい)	7
行政	・街づくり意見交換会の開催	1	・市民の声が行政に届いているか不安 ・施策など情報を得られにくい	2



⑤ 第1回 会場の様子



旭市の強み、魅力と課題
について意見を出し合う

様々な意見を分野ごとに
グルーピングする



グループの意見を発表

2. 第2回

① 開催日時

令和5年11月26日（日）午後2時～

② 検討テーマ

「10年後に、旭市や市民がどのようになってほしいか」

③ 意見交換会の流れ

内 容	
趣旨説明	挨拶・趣旨説明
自己紹介	自己紹介 ～①名前、②居住地区、③参加のきっかけ、④最近のトピックス・ “推し” など
結果報告	第1回意見交換会の結果報告
内容説明	意見交換会の進め方の説明
ワーク①	【グループワーク①】 ～目標の検討（各自） ・ <u>10年後に、旭市（市全体～地域コミュニティ）や旭市民（同世代～多世代・全体）</u> がどのようになってほしいかを各自付箋に記入 -こんなまち・コミュニティ、こんな暮らし、こんな仕事・働き方、 こんな活躍・交流など何でも自由に ・ 各自発表（全員が発表） ・ 途中休憩はグループ内で適宜
ワーク②	【グループワーク②】 ～目標の整理・要約（各班） ・ 同様な（類似した）内容の目標をグループ化 ・ グループ化した目標に「テーマ・表題」をつける
発 表	班ごとに代表者が発表 ～特に重要なもの・盛り上がったものを 中心に発表（各班3分）
案 内	次回の案内

④ 開催結果（第2回）

「旭市のまちづくり」意見交換会 第2回の結果（全体統合）			まちづくりの目標整理
中心テーマ	班	まちづくりの目標(10年後の旭市・旭市民・わたしたち)	まちづくりの目標候補
◆交通 ●利便性・安全性の向上 ●交通網の充実 【17】	A	○市内の交通利便性がよくなり、今までにない旭の魅力を発見し、シェアできるまち。 ○バスや電車等の交通機関の利用がしやすくなっている（駅・バス停にアクセスしやすい、運行本数の増便）。 ○発電に有利で、電気代や公共の交通料金が安いまち。 ○移動がしやすく、市内を隅々まで楽しめる。 ○街灯を増やし、夜でも安心して外を歩くことができる。 ○狭い道路がなく、誰もが安心して歩ける広い道路がある。 ○高速道路の整備や電車の増便などにより、都心に快適にアクセスできる。 ○お年寄りから子どもまで、いつでも行きたいところに行けるような交通網の充実したまち。	①市内の交通利便性・安全性が高まり、お年寄りから子どもまで、いつでも行きたいところに行くことができ、通勤・通学・通院・買い物・遊びなどの利便性が高まっている。 ②市内の移動が容易になることで、今までにない旭の魅力を発見し、みんなでシェアすることができ、そのことで旭をもっと大好きになっている。 ③高速道路ほか主要道路の整備・改良により、市内外、都心や成田空港との往来が容易になり、観光ほか人的交流が活発している。 ④高速道路ほか主要道路の整備・改良により、工業団地等へのアクセス性が高まり、物流の効率化や企業立地が進展している。
	B	○市内のバス便の利便性が向上（運行本数がたくさん増加）し、車を使用しないで外出する人や機会が増えている。 ○どの道も夜間は明るく、安心安全でキレイな街へ。 ○人口増により特急の増便やベッタウン化が進み、さらに人口増につながるような人が集まる街にする。	
	C	○旭市内の交通網の充実。 ○道路・鉄道等、交通の便が良くなり、他地区との交流が活発になっている。 ○運転免許を返納しても外出しやすい環境や制度を作る。 ○横芝から旭市まで高速道路が出来て、仕事や通勤に便利になる。 ○市内工業団地への大型車のアクセスの円滑化（干潟工業団地への入口の拡幅、銚子連絡道路の開通を見据えた分岐路線の整備…など）。 ○高齢者が増加するので、中央病院まで専用バスが運行するとうい。	

「旭市のまちづくり」意見交換会 第2回の結果（全体統合）

まちづくりの目標整理

中心テーマ	班	まちづくりの目標(10年後の旭市・旭市民・わたしたち)	まちづくりの目標候補
◆子ども ●子育て支援 ●子どもの成長 ●教育 【15】	A	○子どもが将来に希望を持ち、自分の未来を具体的に考え、それに向かって成長できる教育がある。 ○子育てに関する情報共有や補助金の充実、公園・施設の増加など、子育て支援が充実したまち。 ○子育てがしやすいように、子育てグッズなどの定期便があるまち。	⑤子どもたち(含:中高生)が、将来に夢と希望を持つことができる環境や教育、サポートがあり、その実現に向かって着実に歩み、成長している。 ⑥子どもたち(含:中高生)が、友だちと一緒に安心して遊べる場所や居場所がたくさんあり、仲間をつくりながら楽しく成長している。 ⑦子育てに関する支援(行政・企業等)が充実し、働き盛りの子育て世代が、安心して働きながら生活している。 ⑧子育てに関する支援(行政・企業等)が充実し、若者が結婚や出産・子育てに安心して前向きに取り組んでおり、移住・定住者が増加している。
	B	○子育てしながら仕事ができる環境(働く場、制度等)が充実している。 ○安心して出産や育児ができる。 ○子どもが自分らしく学校生活を送ることができている。 ○結婚や子育てに前向きに取り組むことができ、将来が明るい。 ○充実した支援により子育て世代の移住者が増えている。 ○働きざかりの世代が、子育てや介護の心配なく、安心して働ける街になってほしい。 ○空き家を活用した放課後の子どもの居場所づくり。	
	C	○子ども達が、安心して遊べる地域。 ○子どもや若者が遊べる場所を増やす。 ○子供達が公園等で友達と遊べるようになってほしい。 ○子供達が多く、元気に遊べている。 ○人口が10万人都市になり、子供が多くなっている。	
◆交流 ●多世代交流 ●つながり ●支えあい ●コミュニティ ●出会い 【14】	A	○地域の人たちで掃除を行ったり、お祭りなどを行っている。 ○お年寄り(一人暮らしでも)の不安や心配事をいつでもリモートなどで聞くことができる！ ○住んでいる人々がとても優しい地域で暮らしている。 ○高齢者が孤立しないよう、スポーツセンターや交流施設等が充実したまち。 ○コミュニティでのつながりを意識して、住民が経営するカフェなどを作る。 ○趣味を楽しみやすく、交流の場が多いまち。	⑨地域住民が主体的に地域の掃除や困りごとの解決、祭事・イベントなどに取り組み、コミュニティが活性化している。 ⑩子どもからお年寄りまで、多世代が交流する場と機会がたくさんあり、楽しい時間を過ごすとともに、支えあいやつながりの輪が広がっている。
	B	○習い事(幼児～小学生)や部活動(中高生)、サークル活動(大人)等の多世代が利用できる施設ができて活発な交流が展開されている。	
	C	○地区のお祭り等、世代間の交流ができるイベントを増やす。(復活させる) ○異世代間の交流が盛んで高齢者が元気に暮らせるように。 ○地域のふれあい(高齢者&子ども他) ○空き校舎を利用して、老人・高校生・小学生・赤ちゃんが皆で楽しめる○○。 ○通いの場を増やす。 ○高齢者が出かけられる場所があり、車がなくても行ける。 ○出会いの場がある街	

「旭市のまちづくり」意見交換会 第2回の結果（全体統合）

まちづくりの目標整理

中心テーマ	班	まちづくりの目標(10年後の旭市・旭市民・わたしたち)	まちづくりの目標候補
◆観光 ●多様な地域資源の利活用 ●魅力づくり ●観光・集客スポットの開発 ●魅力発信 【15】	A	○SNS等でシェアしたいと思うような魅力があるまち。 ○流行を取り入れやすく、若者が訪れる機会の多いまち。 ○観光スポットや施設が増加・充実し、メディアの露出も増えている。 ○観光スポットが増えて観光客が多数来訪し、地域が活性化している。 ○神社が大切にされ、参拝者が多い。 ○宿泊施設を見つけやすく、数日間にわたって楽しめるまち。 ○江ノ電やたこせんといった地域の特色を活かした、思い出に残りやすいまち。 ○広大な土地を活かしたレジャー施設や誰もが楽しめるショッピングモールで買い物ができる。	⑪地域特性を生かした観光スポットや施設が増加し、SNSでのシェアやメディアの露出も増え、若者がたくさん訪れている。 ⑫飯岡漁港や刑部岬、九十九里海岸の特性と地元の食を生かした観光振興への取り組みで県内外からの多くの来訪者で賑わっている。 ⑬観光で訪れた多くの人が旭を気に入りに、移住している。
	B	○統廃合による空き校舎・校庭を活用した観光施設ができて多くの来訪者で賑わっている。 ○海沿いのまちが賑わっている。 ○海岸線はカリフォルニアの様なビーチへ変貌し、漁港+キャンプ+遊覧船等で観光に特化し、移住者を増やす。 ○高速が開通し、アウトレットモール等の施設に他県市の人たちが多数訪れ賑わっている。	
	C	○飯岡漁港を利活用して県内外から多くの観光客を呼び込む～①飯岡灯台と漁港を1つの公園として魅力出し(灯台・漁港間に大きなエスカレーター・ジップライン)、②地元野菜・魚・くだものを活用したファミリー向けレストラン○景観を利用した観光業の活性化～①九十九里海岸線の砂浜利活用、②刑部崎灯台からの景観を利活用(景観眺望+αを要検討)、③飯岡漁港の利活用(フィッシャーマンズワーフ、若い家族が楽しめるアトラクション、漁協と共同でイベント開催等)○セブンアイランドの発想を再検討。	
◆雇用 ●働く場の創出 ●企業誘致 ●若者の雇用 【10】	A	○旭市の基盤である農水業に加え、たくさんの企業が旭市に拠点を持ち、若者が旭市で働いて生活することができるまち。 ○マイナーな職業の就職先が多数集まり、話題性があるまち。 ○雇用支援が手厚く、若者が旭市に残っている。 ○高校・大学卒業後に多様な仕事に就くことができ1人1人が個性を出せるような10年後になってほしい。	⑭農水産業が活性化するとともにたくさんの企業が旭市に拠点を持ち、若者の魅力的な働く場と雇用が増加している。 ⑮多様な企業と働く場があり、多くの若者(高校・大学卒業者等)が地元に残り(戻り)、仕事や子育て、趣味やスポーツなど、多面で活躍し、地域が活性化している。
	B	○雇用の幅が広い(Uターンしても職に悩まない)。 ○安定した雇用がある企業が多い。 ○多様な企業や職業があり、安定した生活のもとで安心して子育てができ、人口が増加している。	
	C	○工業団地での雇用の増加。 ○安定した収入を得られる職場がある街。 ○工業団地への大企業誘致により、若者の雇用の場と人材を確保し、活気あふれるまち。	

「旭市のまちづくり」意見交換会 第2回の結果（全体統合）

まちづくりの目標整理

中心テーマ	班	まちづくりの目標(10年後の旭市・旭市民・わたしたち)	まちづくりの目標候補
◆安心・安全・快適な暮らし ●医療の充実 ●高齢者福祉 ●買い物利便性 【9】	B	○災害が起きても”大丈夫”と安心できるまち。	
	C	○医療の充実した、安心な街。 ○医療が充実し、病気になっても高度医療が受けられ、安心して生活できる。 ○買い物に困らない街、移動販売など。 ○高齢者が一人暮らしでも安心して楽しく暮らせるまち。 ○留守にしても鍵をかけずに安心して外出ができる。 ○とにかく楽しく生活したい。 ○コロナがなくなり、安全に配慮された環境で、高齢者も安心して暮らせる住み良いまち。 ○税金のない(少ない)福祉が充実しているまち。	
◆農林水産業 ●安定した漁業環境 ●最先端農業・果産業 ●農・工連携 ●林業育成 【7】	A	○船舶等のライセンスを容易に取得でき、漁師さんの収入が安定する漁業環境をつくる。 ○畜産の数は減らさず、ニオイの問題を解決してほしい。	⑩医療と福祉と市民の支えあいの心が充実し、高齢者や障がい者、その他支援を必要とする人が、孤立せず、楽しく、安心して暮らすことができる。 ⑪農水産業が、最先端の技術・手法の研究と実践、観光産業との連携や6次産業化の推進、及び後継者の育成等により経営が安定し、担い手も増加し、活性化している。
	B	○農業特区で企業と学生が最先端農業を研究・実践し、関連企業も集まり、2次・3次産業が活性化。 ○銚子市と連携した水産特区で企業と学生が養殖等を研究・実践し、雇用の創出と人口増につなげている。	
◆移住・定住 ●旭市ならではの強み ●移住・定住の魅力づくり 【6】	C	○農業を大事に育成する～①小規模農業のマッチング化推進、②JA 本来の企業目的(農業共同体)への回帰、③農業後継者の育成に力を注ぐ(旭農業高校と東総工業高校の「農」+「工」職業校一体化による新時代チャレンジ力の向上)。 ○地域の農産物を活かし、買い物客が多く訪れ、経済が安定したまち。 ○林業の育成強化の推進(世界的な木材不足に対応すべくSDGs の観点も取入れ再起業化を促進)～①道路にはみ出した高木等の不要木材の強制伐採、②伐採した木材で再利用可能な製品を製造・販売(新規雇用創出)、③林業と雑草除去が事業として成り立つようにする…など	⑫旭市でなら●●ができる!! という強みが生まれ、旭市ならではの暮らし体験もでき、旭市に「住んでみたい、住み続けたい、一度離れてもいつか戻りたい」と思う人が増加している。
	A	○市外の人が、1日、1週間、1年間、旭市での暮らしを体験でき、旭市に「住んでみたい・住み続けたい」と思ってもらいたい。	
	B	○「旭市でなら●●ができる!!」という強みが生まれていると良し!(Uターンに加え新しい転入者の増加を目指す!) ○一度転出しても「いつか戻ろう」と思えるまち。 ○新築ではなく、空き家を活用するシステムづくり。 ○粗大ゴミの処分無料化。	
	C	○市営住宅を新しく。	

「旭市のまちづくり」意見交換会 第2回の結果（全体統合）

まちづくりの目標整理

中心テーマ	班	まちづくりの目標(10年後の旭市・旭市民・わたしたち)	まちづくりの目標候補
◆駅周辺 ●市内4駅周辺の開発・活性化 ●商店街の活性化 ●賑わい創出 【5】	A	○駅前商店街が人だかりで賑わい、魅力を感じ、旭市に住みたい・住み続けたいと思う人がたくさんいる！ ○飲食店等の落ち着ける場所(喫茶店)づくりなど駅周辺の発展。	①⑨駅周辺の商店街が元気になり、買い物場、交流の場、個々人の居場所として、多世代の市民に親しまれ、賑わっている。 ②⑩市内JR4 駅周辺について、各駅の立地環境を生かした開発・再開発により、駅の利便性が高まり、通勤通学に加え、商工業の面でも有効に利用されている。
	C	○旭駅及び干潟駅の再開発推進～①旭駅北口の再開発(旭駅の南北円滑利用)、②干潟駅からの工業製品出荷ルート確保(駅構内の拡幅及びあさひ鎌数工業団地・干潟工業団地との資機材運搬円滑化など) ○飯岡駅北側の再開発と倉橋駅周辺の利活用促進～①飯岡駅北側にロータリーを設置するとともに農免道路に向けて広域農道を整備する、②倉橋駅周辺への駐車場の整備と林業者の木材搬出用の貨物積み込みエリアの設置、及び倉橋・岩井・松ヶ谷地区、鎗木～桜井地区の林業促進地区指定と保護。 ○商店街をもっと元気に。	
◆環境 ●自然景観 ●風力発電 ●CO₂削減 【5】	A	○星空や夜の町を楽しめるまち。 ○海のきれいさや公園の充実度はUPしてほしい。 ○公園の桜並木や季節感があるものは残っていてほしい。	②⑪美しい海と海岸線や四季折々の花木、きれいな星空など、旭ならではの自然を楽しむことができる、人や環境にやさしい旭ライフが持続している。
	C	○風力発電エリア・ランドの発想(職域の拡大促進) ○安価な燃料、水で走る車がないかな～	
◆活躍 ●チャレンジ ●生涯活躍 【2】	B	○市民が主体的にまちづくりに参加する(参加できる)街になってほしい(市民がチャレンジできる仕組みづくり／行政は市民のお手伝い)。	②⑫多世代の市民が、自分の“経験”や“得意”あるいは“地域や人の役に立ちたいという思い”を生かし、主体的にまちづくりに参加・チャレンジし、活躍をしている。
	C	○定年退職後も活躍できる街。	
◆空地活用 【2】	C	○市の空地の土地について。 ○田畑の有効活用。	(上記目標達成に向けた取り組みで必要に応じて利活用する)
◆その他	B	○透明な市政	

⑤ 第2回 会場の様子



10年後の旭市の姿へ思いを並べる



最後にグループでの意見を発表

3. 第3回

① 開催日時

令和5年12月17日（日）午後2時～

② 検討テーマ

「10年後の旭市がこうなっていてほしい」を実現するために必要なこと・取り組むべきこと

③ 意見交換会の流れ

内 容	
趣旨説明	挨拶・趣旨説明
結果報告	第2回意見交換会の結果報告
内容説明	意見交換会の進め方の説明
ワーク①	【グループワーク①】 ○まちづくりの目標候補の修正・補正 ○目標の実現のために必要なこと・取り組むべきことについて各自付箋に記入 ・各自発表（全員が発表） ・途中休憩はグループ内で適宜
発 表	班ごとに全員で発表 ～優先的に取り組むべきと考える施策を中心に発表（各班10分）
ワーク②	【グループワーク②】 ～まちづくりの目標の絞り込み ・各人が重要と考える目標を10個以内で選出 ・全体を集計し、結果を共有する
閉会	挨拶
写真撮影	全体で写真撮影

④ 開催結果（第3回）

a. ワークショップ① まちづくりの目標を実現させるために必要なこと

中心 テーマ	まちづくりの目標	班	まちづくりの目標を実現させるために必要なこと
交通	①市内の交通利便性・安全性が高まり、お年寄りから子どもまで、いつでも行きたいところに行くことができ、通勤・通学・通院・買い物・遊びなどの利便性が高まっている。	A	○キレイな街にするため、地域ごとでゴミ拾いの活動などに取り組む。 ○「GO」などのタクシーアプリを使い、ロボットタクシーなどの無人自動車で呼びたい時に呼び、行きたい所へ行けるようにする。 ○駅前だけでなく、様々な場所にタクシーの乗り場やバス停をつくる。
		B	○バス本数を増便し、路線を多くする。 ○市内バスの運行本数の増加、及び歩道や街灯等の道路環境の整備が必要。
	②市内の移動が容易になることで、今までにない旭の魅力を発見し、みんなでシェアすることができ、そのことで旭をもっと大好きになっている。	A	○「GO」などのタクシーアプリを使い、ロボットタクシーなどの無人自動車で呼びたい時に呼び、行きたい所へ行けるようにする。
		B	○市内の施設を利用した際や風景・食等、市民たちが自らSNSへ投稿したりしてたくさんアピールすることが必要。
	③高速道路ほか主要道路の整備・改良により、市内外、都心や成田空港との往来が容易になり、観光ほか人的交流が活発している。	A	○高速バス（東京行き）をより広めることによって、電車や高速道路での移動以外の選択も増える。
		C	○成田空港～R296～広域農道への道路を整備する。 ○信号でのスムーズな通過を可能にする。 ○アスファルト道路を本格的に改良。
	④高速道路ほか主要道路の整備・改良により、工業団地等へのアクセスが高まり、物流の効率化や企業立地が進展している。	C	○成田及び東金有料道路から市内へのスムーズなアクセスを可能にする。 ○銚子連絡道の早期完成。 ○東関道から干潟地区へのバイパス道路推進計画の立案。

中心 テーマ	まちづくりの目標	班	まちづくりの目標を実現させるために必要なこと
子ども	⑤子どもたち(含:中高生)が、将来に夢と希望を持つことができる環境や教育、サポートがあり、その実現に向かって着実に歩み、成長している。	A	○職業体験や色々なお仕事をされている方とふれあう機会を設ける。 ○学校で国語や数学を教えるのはもちろん、それ以上に社会での問題に前向きに取り組み、すべての子供たちが一切の不安もなく生活できる教育を行う。 ○中高生と大人が関わり合える機会を学校と連携して増やす。
		B	○学校跡地等を活用して、子供たちが遊んだり学んだりイベント施設等として活用。
		C	○学校教育以外の学びの施設や機会を作る。
	⑥子どもたち(含:中高生)が、友だちと一緒に安心して遊べる場所や居場所がたくさんあり、仲間をつくりながら楽しく成長している。	A	○空き家や空き地を子ども達が安心して遊べる場所にする。 ○放課後広場を作り、年関係なく遊び、触れ合えるようにする。
		B	○学校跡地等を活用して、子供たちが遊んだり学んだりイベント施設等として活用。
	⑦子育てに関する支援(行政・企業等)が充実し、働き盛りの子育て世代が、安心して働きながら生活している。	A	○こんな支援をやっているよ！ということをチラシ・ポスター・SNS等で市民、市外の人に知ってもらう。子育てしやすい市だと周知してもらおうと市外からも旭市に来てくれる。
		B	○行政・企業それぞれの現状把握と周知、連携体制の構築が必要。
		C	○子育て支援の充実(高校～大学への学費無償化、育児中(小学卒まで)1人3万円の支給実現化、出産経費に係るものの全額補助)。
	⑧子育てに関する支援(行政・企業等)が充実し、若者が結婚や出産・子育てに安心して前向きに取り組んでおり、移住・定住者が増加している。	A	○こんな支援をやっているよ！ということをチラシ・ポスター・SNS等で市民、市外の人に知ってもらう。子育てしやすい市だと周知してもらおうと市外からも旭市に来てくれる。 ○出産・子育ての知識と財力のない若者に向け、必要な知識や費用等の情報を周知し、その時になって安心して取り組めるようにする。
		B	○雇用拡大→収入安定→子育て資金に明るい展望。 ○行政・企業それぞれの現状把握と周知、連携体制の構築が必要。
		C	○若者が結婚・出産を考えられる場の創出。 ○若者の出会いの場を設ける取り組みが大事(例:公的仲人制度によるカップル増加策)。 ○子育て支援の充実(高校～大学への学費無償化、育児中(小学卒まで)1人3万円の支給実現化、出産経費に係るものの全額補助)。

中心 テーマ	まちづくりの目標	班	まちづくりの目標を実現させるために必要なこと
交流	⑨地域住民が主体的に地域の掃除や困りごとの解決、祭事・イベントなどに取り組み、コミュニティが活性化している。	A	○キレイな街にするため、地域ごとでゴミ拾いの活動などに取り組む。
		B	○今までとは違った形でのコミュニティの形成が必要。同じ目的・考えの人達が気軽に集まって活動できるような仕組み作り。 ○中央病院があり医療が充実しているため、全世代・障がい者などが安心して生活できる。
		C	○地域住民の交流の頻度が増えると防犯意識も向上し、子育て世代や高齢者世帯の安心・安全な生活につながる。 ○移動スーパーの創設。
	⑩子どもからお年寄りまで、多世代が交流する場と機会がたくさんあり、楽しい時間を過ごすとともに、支えあいやつながりの輪が広がっている。	A	○定期的にこのような話し合いの場を設ける。 ○商店街の活性化により子どもから高齢者まで楽しく買い物ができ、交流することができる。
		C	○地域住民の交流の頻度が増えると防犯意識も向上し、子育て世代や高齢者世帯の安心・安全な生活につながる。 ○心豊かなつながりを持ち、穏やかな心を持って過ごしやすい。 ○人口増方策として「産めや育てや方策」、「お節介人の依頼」など。 ○保健師、介護士、保育士に協力を依頼し、住人を一人にしないこと。

中心 テーマ	まちづくりの目標	班	まちづくりの目標を実現させるために必要なこと
観光	⑪ 地域特性を生かした観光スポットや施設が増加し、SNSでのシェアやメディアの露出も増え、若者がたくさん訪れている。	A	○商業(含:個人経営)・観光施設に対し、市が出資することで活性化。 ○InstagramやTikTok等、施設が宣伝し来訪者を増やす。 ○地元食材を使ったカフェや旬のフルーツを使った直売所などを作って、生産者と消費者のつながりも大切にしていく。 ○市の飲食店(特にカフェ等)のまとめや口コミをSNS(インスタやX)でアピールする。 ○個人の出店をしやすいとする。(資格取得の支援等・土地の確保)。
		B	○廃校や空き地を活用し会社を呼び込む。 ○新たな観光スポットの発見や、魅力的な店舗の出店が必要。 ○市民が主体的に市の良いところを見つけ、情報発信していく。 ○新たな店舗の出店と小規模事業者の誘致。 ○地産地消イベントなどへの参加。 ○市内の施設を利用した際や風景・食等、市民たちが自らSNSへ投稿したりしてたくさんアピールすることが必要。 ○地域特性を活かし、今あるものを活用する(田舎、広い土地、空き校舎～グランピング施設に！)。
		C	○具体的な観光コースの設定と広報の徹底。 ○子育て世帯の移住を促進することも目標にする。 ○風力発電の景観を加えてPR(全国へ発信)。 ○飯岡港のフィッシャーマンズワークを県と共同で完成させる。 ○飯岡灯台を活用し、イルミネーション・花火・初日の出など人が集まる時に若者等による音楽イベントを開催し、SNSやメディアに流す。 ○今ある観光スポットに滞在できる店を作る。
	⑫ 飯岡漁港や刑部岬、九十九里海岸の特性と地元の食を生かした観光振興への取り組みで県内外からの多くの来訪者で賑わっている。	B	○海岸線を整備して見栄え良くする。 ○映え&遊べるスポットを整備、拡充する。 ○漁港、灯台を利活用(キャンプ場等)する。 ○市内の施設を利用した際や風景・食等、市民たちが自らSNSへ投稿したりしてたくさんアピールすることが必要。
		C	○風力発電の景観を加えてPR(全国へ発信)。 ○飯岡港のフィッシャーマンズワークを県と共同で完成させる。 ○飯岡灯台を活用し、イルミネーション・花火・初日の出など人が集まる時に若者等による音楽イベントを開催し、SNSやメディアに流す。 ○地産地消のレストランをつくる(元給食センターの人、料理の好きな人、人の好きな人と協力して)。 ○今ある観光スポットに滞在できる店を作る。
	⑬ 観光で訪れた多くの人が旭を気に入って、移住している。	B	○海岸線を整備して見栄え良くする。 ○映え&遊べるスポットを整備、拡充する。 ○漁港、灯台を利活用(キャンプ場等)する。
		C	○子育て世帯の移住を促進することも目標にする。 ○風力発電の景観を加えてPR(全国へ発信)。 ○飯岡港のフィッシャーマンズワークを県と共同で完成させる。

中心 テーマ	まちづくりの目標	班	まちづくりの目標を実現させるために必要なこと
雇用	⑭農水産業が活性化するとともにたくさんの企業が旭市に拠点を持ち、若者の魅力的な働く場と雇用が増加している。	A	○農水産業は安定した収入がないというイメージがあるので、良いイメージをもってもらう取り組みをし、収入が不安定な時期は給付金などの手助けをする。
		B	○農業・水産特区化して企業・大学(研究機関)を誘致し、効率的かつ生産性良く再編する。
	⑮多様な企業と働く場があり、多くの若者(高校・大学卒業者等)が地元に残り(戻り)、仕事や子育て、趣味やスポーツなど、多方面で活躍し、地域が活性化している。	C	○空き校舎を活用してキャンプやサーファーが宿泊できる施設を整備する。
安心・安全・快適な暮らし	⑯医療と福祉と市民の支えあいの心が充実し、高齢者や障がい者、その他支援を必要とする人が、孤立せず、楽しく、安心して暮らすことができる。	B	○中央病院があり医療が充実しているため、全世代・障がい者などが安心して生活できる。 ○高齢者(交通弱者)が集団で暮らせる施設をつくる。
		C	○元気な心を持って暮らす。 ○とにかく楽しく地域住民とつながっていただけること(⑩にもつながる)。 ○福祉の仕事関係者の一律給与補助(+5万円を市から)。
農水産業	⑰農水産業が、最先端の技術・手法の研究と実践、観光産業との連携や6次産業化の推進、及び後継者の育成等により経営が安定し、担い手も増加し、活性化している。	B	○農業・水産特区化して企業・大学(研究機関)を誘致し、効率的かつ生産性良く再編する。
		C	○林業を新規に第3セクター化し開発する。 ○農水産業の担い手を育成し活性化させる。
移住・定住	⑱「旭市でなら●●ができる!!」という強みが生まれ、旭市ならではの暮らし体験もでき、旭市に「住んでみたい、住み続けたい、一度離れてもいつか戻りたい」と思う人が増加している。	B	○都内などから移住した人達が不自由なく最低限のコトがそろってる。
		C	○学校教育以外の学びの施設や機会を作る。 ○旭市で育った子どもに故郷意識を持ってもらい、定住につなげる。

中心 テーマ	まちづくりの目標	班	まちづくりの目標を実現させるために必要なこと
駅周辺	⑱駅周辺の商店街が元 気になり、買い物場、 交流の場、個々人の居 場所として、多世代の 市民に親しまれ、賑わ っている。	A	○個人の出店をしやすくする。(資格取得の支援等・土地の確保)。
		B	○現状はシャッター街なので、新しい店舗を増やすだけでなく、元々あるお店やお店特有の商品が復活しないと意味がない。 ○旭駅の周りは何もないので、駅利用者にとってうれしい環境を整える(例:お土産、コンビニ、コインロッカー、待機できる場所など)。
		C	○南北バランスの良い周辺開発する事で活力上昇を目指す。
	⑳市内JR4 駅周辺につ いて、各駅の立地環境 を生かした開発・再 開発により、駅の利便 性が高まり、通勤通学 に加え、商工業の面 でも有効に利用されて いる。	B	○現状はシャッター街なので、新しい店舗を増やすだけでなく、元々あるお店やお店特有の商品が復活しないと意味がない。 ○旭駅の周りは何もないので、駅利用者にとってうれしい環境を整える(例:お土産、コンビニ、コインロッカー、待機できる場所など)。 ○このような意見交換会の機会がほかにもあると良い。子どもの参加(「こども議員」のような取組)もあるとよい。 ○行政・企業とも市民の意見を聞く場を設けるとよい。
		C	○南北バランスの良い周辺開発する事で活力上昇を目指す。
環境	㉑美しい海と海岸線や 四季折々の花木、きれ いな星空など、旭なら ではの自然を楽しむこ とができる、人や環境 にやさしい旭ライフが 持続している。	B	○「海」を一番に立てるのではなく、「周辺に施設があつての海!!」として進める方がよい。 ○サーフィンやご当地グルメを売りにする。
		C	○旭市が取り組んでいる洋上風力を、環境面だけではなく観光資源にすることが大切。 ○星空を楽しむスポット、施設を作る。
活躍	㉒多世代の市民が、自 分の“経験”や“得意” あるいは“地域や人の 役に立ちたいという思 い”を生かし、主体的に まちづくりに参加・チ ャレンジし、活躍をし ている。	B	○市の実情(良いことも悪いことも)をもっと公開し、市民の意識改革を進める。

b. まちづくりの目標の絞り込み（投票結果）

「旭市のまちづくり」の“まちづくりの目標案”（①～②②）について、順位決めを行った。※各自最大10個の目標を選定し投票（第10位までを網掛け）。

まちづくりの目標案（番号順）	得票	順位
① 市内の交通利便性・安全性が高まり、お年寄りから子どもまで、いつでも行きたいところに行くことができ、通勤・通学・通院・買い物・遊びなどの利便性が高まっている。	15	2
② 市内の移動が容易になることで、今までにない旭の魅力を発見し、みんなでシェアすることができ、そのことで旭をもっと大好きになっている。	7	14
③ 高速道路ほか主要道路の整備・改良により、市内外、都心や成田空港との往来が容易になり、観光ほか人的交流が活発している。	6	17
④ 高速道路ほか主要道路の整備・改良により、工業団地等へのアクセス性が高まり、物流の効率化や企業立地が進展している。	4	21
⑤ 子どもたち(含:中高生)が、将来に夢と希望を持つことができる環境や教育、サポートがあり、その実現に向かって着実に歩み、成長している。	13	3
⑥ 子どもたち(含:中高生)が、友だちと一緒に安心して遊べる場所や居場所がたくさんあり、仲間をつくりながら楽しく成長している。	9	11
⑦ 子育てに関する支援(行政・企業等)が充実し、働き盛りの子育て世代が、安心して働きながら生活している。	7	14
⑧ 子育てに関する支援(行政・企業等)が充実し、若者が結婚や出産・子育てに安心して前向きに取り組んでおり、移住・定住者が増加している。	12	4
⑨ 地域住民が主体的に地域の掃除や困りごとの解決、祭事・イベントなどに取り組み、コミュニティが活性化している。	9	11
⑩ 子どもからお年寄りまで、多世代が交流する場と機会がたくさんあり、楽しい時間を過ごすとともに、支えあいやつながりの輪が広がっている。	11	7
⑪ 地域特性を生かした観光スポットや施設が増加し、SNSでのシェアやメディアの露出も増え、若者がたくさん訪れている。	17	1
⑫ 飯岡漁港や刑部岬、九十九里海岸の特性と地元の食を生かした観光振興への取り組みで県内外からの多くの来訪者で賑わっている。	12	4
⑬ 観光で訪れた多くの人が旭を気に入り、移住している。	5	19
⑭ 農水産業が活性化するとともにたくさんの企業が旭市に拠点を持ち、若者の魅力的な働く場と雇用が増加している。	6	17
⑮ 多様な企業と働く場があり、多くの若者(高校・大学卒業者等)が地元に残り(戻り)、仕事や子育て、趣味やスポーツなど、多方面で活躍し、地域が活性化している。	10	9
⑯ 医療と福祉と市民の支えあいの心が充実し、高齢者や障がい者、その他支援を必要とする人が、孤立せず、楽しく、安心して暮らすことができる。	12	4
⑰ 農水産業が、最先端の技術・手法の研究と実践、観光産業との連携や6次産業化の推進、及び後継者の育成等により経営が安定し、担い手も増加し、活性化している。	5	19
⑱ 「旭市でなら●●ができる!!」という強みが生まれ、旭市ならではの暮らし体験もでき、旭市に「住んでみたい、住み続けたい、一度離れてもいつか戻りたい」と思う人が増加している。	11	7
⑲ 駅周辺の商店街が元気になり、買い物の場、交流の場、個々人の居場所として、多世代の市民に親しまれ、賑わっている。	7	14
⑳ 市内JR4 駅周辺について、各駅の立地環境を生かした開発・再開発により、駅の利便性が高まり、通勤通学に加え、商工業の面でも有効に利用されている。	4	21
㉑ 美しい海と海岸線や四季折々の花木、きれいな星空など、旭ならではの自然を楽しむことができる、人や環境にやさしい旭ライフが持続している。	10	9
㉒ 多世代の市民が、自分の“経験”や“得意”あるいは“地域や人の役に立ちたいという思い”を生かし、主体的にまちづくりに参加・チャレンジし、活躍をしている。	8	13

① 第3回 会場の様子



各グループでの意見を全員で発表（高校生）



子育て世代



シニア世代